

組織部速報

2019年9月20日

No. 4

新生 JR 東労組の混乱・分断・破壊を目論む 「真実の目」を許さず、JR 総連組織の 強化・拡大をめざそう！

組織破壊と認定した「真実の声」は、そのホームページの管理者が JR 東労組中央執行部員であり東京地本に派遣され特別執行委員の任を受けていた畠山氏だったことが判明した。そのため JR 東労組は畠山氏に対して事情聴取を行なったが、事実関係を明らかにしなかったことから JR 東労組は指令第 7 号として、①畠山浩信君の中央執行部員を解除する。②東京地方本部に畠山浩信君の地本特別執行委員の任を解除することを求める。③畠山浩信君に「真実の声」の閉鎖を求める。ことなどを発出し、その後「真実の声」のホームページは閉鎖された。

しかし、あろうことか、9月に入り突如として「真実の目」なるホームページが新たに開設をされた。この「真実の目」なるものは「真実を見抜く目を養う実行委員会」が運営しているが、その実態は不明である。しかもその内容は JR 東労組を誹謗・中傷する内容であり、12 地本一体となって JR 東労組の再生を進めていることに対する組織破壊に棹さすなにもものでもない。

この「真実の目」には、畠山氏が使用していたパソコンの解析のために JR 東労組中央本部に持ち帰ったことに対して、「本部という権力を振りかざした窃盗・強奪に等しい所業」などと言っているが、そもそも「真実の声」は、JR 東労組 12 地本すべてが組織破壊と認定しているのである。その組織破壊と認定した「真実の声」の管理者が畠山氏とすれば、特別執行委員として任命した東京地本は、積極的にその解明に努めるべきではないか。

現在 JR 東労組は、18 春闘の大敗北を総括し、12 地本が総団結をはかり、全組合員とともに組織の信頼回復と強化・拡大の実現をめざしている。私たち JR 貨物労組は「真実の目」なる新たな組織破壊攻撃を許さず、新生 JR 東労組と固く連帯し、JR 総連の強化・拡大にむけてまい進するものである。